

● ふれあい ● ふれあい ●

「や・ぶ・へ・び」*

笠間市市長公室企画課

主事 稲野辺 智子



遠く離れた友人への手紙でさえなかなか書けないでいる筆無精の私が、今さら原稿用紙6枚なんて!! 国語は好きだったけれど、作文は大嫌いで、なかでも読書感想文なんて苦手中の苦手。夏休みの宿題でも、“理科の研究”と“感想文”は最大の“がん”。研究の方は友達との共同作業だったので、救いの神も微笑んでくれたのだけれど、感想文の共同作業なんて許される訳もありません。書ける漢字も平仮名で書き、行をかせぐという姑息な手段をとりながら、“あー、なんでもっと早くやらなかったんだろう”と後悔しながら8月31日まで書いていた苦い思い出しかありません。そして、この世から作文なんてなくなってしまえ!といつも考えていたものでした。そんな私が今、この歳になって原稿用紙6枚に悩まされるとは……思ってもいませんでした。原稿用紙のお化けが夢に出てきそうです。

とはいっても、原稿依頼を受けた以上、きちんとノルマは達成しようと必死に机に向かっているのですが、隣では係長が、頭を抱えている私に「旅の思い出でも書いたら?」とのんきなことを言っています。ついこの間まで、「課長に書いてもらっちゃおう。」と2人で作戦を考え、(※うちの課長は長い文章でも原稿なしでいきなりワープロに向かえる文才の持ち主です。)「課長、ちょっとお話を…」と切り出したまではよかったです、念のためにと開いたバックナンバーで、寄稿している人のほとんどが係長や主事であることが

発覚し、“藁にもすがる思い”であった課長への依頼は断念され、主事である私が観念するハメになりました。

悪だくみをして、結局は自分の首を絞めることになったあまりの間抜けさに、情けない思いを抱きながらペンを執っているのですが、間抜けといえば、私が世間に間抜けを最初に露呈したのは小学校6年生の時でした。卒業文集に“将来の夢”というページがあって、男の子の場合は“学者”“野球選手”“宇宙飛行士”など、女の子は“幼稚園の先生”“お菓子屋さん”“お嫁さん”などとかわいい夢をそれぞれ書いていました。私はというと、当時憧れていたせいもあって、“ビューティー・ペアのような女子プロレスラーになって、ブラック・ペアをやっつけたい!”と正直な気持ちを書いたため、先生からも近所からも「おもしろい。」と評判の娘になってしまいました。おかげに、幼いながらも真剣だった私は、中学生になったらバスケット部に入って、身長と忍耐力と根性を身につけようと本気で考えていました間抜け者でした。

「三つ子の魂百まで」昔の人はよく言ったものです。その頃の性格は未だに四六時中、そこら中で發揮されています。ときどき自己嫌悪に陥ることもあるけれど、“間抜けさ”が功を奏することもあると信じ、人様に迷惑をかけない程度に“間抜けな私”でいたいと思います。

……6枚め、無事(!?)完了!どうやら原稿用紙のお化けに会わないで済みそうです。……

【新着資料案内】

この資料は、平成7年1月中に行政情報センター・統計資料コーナーに到着した主なものです。ご利用下さい。

行政情報センター 本庁舎地下1階 TEL 0292-21-8111(内線2238・2239)

行政資料名	発行所(者)	行政資料名	発行所(者)
中央省庁関係		県内市町村関係	
国勢調査報告 平成2年 (第5巻, 第8巻)	総務省	水戸市の概要 平成6年度版 ひたちの環境 1993年度	水戸市 日立市 結城市
個人企業営業状況調査報告 平成6年3月	"	結城市勢要覧 市制40周年記念号	市道海
子供のいふる世帯	"	水海道市勢要覧	取手市
社会生活統計指標 1995	"	住居表示新旧・旧新対照表	川下巻
人口階級別人口・世帯数	"	小川町史 下巻	小川町
全国物価統計調査報告 平成4年 (第6巻, 第7巻)	"	おがわムーヴ21プラン	岩間町
統計調査総覧 平成5年	"	岩間町勢要覧 1991	東岩町
公害苦情件数調査結果報告書 平成5年版	公害等調整委員会	ひとまち・未来	那珂市
財政統計 平成6年度	大蔵省	那珂町勢要覧 '91	大宮町
学校基本調査報告書 平成6年度	文部省	大宮町勢要覧 1991	やまと町
加工食品流通統計調査報告 平成5年度	農林水産省	やまと町勢要覧 1994	農村村
農業・食料関連産業の経済計算 平成4年度	"	おがわ村勢要覧 '91	水府村
木材需給報告書 平成5年	"	水府村勢要覧 1992	里美村
関東通産統計年報 1993年	関東通商産業局	大洋村勢要覧	大村
企業活動基本調査報告書 平成4年 (第2巻, 第3巻)	通商産業省	大野村勢要覧 '94	桜川村
特定サービス産業実態調査報告書	"	桜川村勢要覧	統計真壁
商業実態基本調査報告書 第6回 (総括編)	中小企業庁	石下町勢要覧 1994	石守谷町
運輸白書 平成6年版	運輸省	都道府県関係	
働く女性の実情 平成6年版	労働省	東京都就業者数の予測	東京都
民間給与の実態	人事院給与局	工業生産統計調査結果報告書 平成5年	京都市
茨城県関係		給与と労働時間と雇用 平成5年版	神奈川県
行政資料目録 平成6年7月31日現在	総務課	山梨県鉱工業指数 平成5年	奈良県
決算に関する付属書類 平成5年度	財政課	工業統計調査結果報告書 平成5年	福井県
県議会臨時会議案 平成7年1月①	"	長野県鉱工業指数年報 平成5年	山梨県
県議会臨時会議案概要説明書 平成7年1月②	"	工業統計調査報告書 平成5年	静岡県
県歳入歳出決算書 平成5年度	"	静岡県鉱工業指数年報 平成5年	長野県
主要施策の成果に関する報告書 平成5年度	"	愛知県統計年鑑 平成6年度刊	愛知県
税務統計書、茨城県 平成5年度	税務課	あいちの工業 平成5年	三重県
国の予算編成に対する要望事項 平成7年度	企画調整課	うつりゆく三重のすがた	奈良県
市町村民所得年報 平成3年度	統計課	大阪の学校統計 平成6年度	大阪府
地盤沈下調査報告書、茨城県 平成5年度	公害対策課	奈良県鉱工業生産指数 平成5年	奈良県
茨城県の生活保護 平成6年度版	社会福祉課	和歌山県鉱工業生産指数 平成5年	和歌山县
国民年金事業年報 平成5年度	国民年金課	和歌山県の工業 平成5年	和歌山県
大規模小売店舗実態調査 平成6年6月1日現在	商業振興課	工業統計調査結果報告書 平成5年	島根県
第二種大規模小売店舗台帳 平成6年度	"	島根県鉱工業生産指数 平成5年	島根県
県歳入歳出決算審査意見書 平成5年度	監査委員会	香川県統計年鑑 平成6年刊行	広島県
県政の概要	議会事務局調査課	統計からみた福岡県のすがた'94	香川県
		福岡県の工業	岡崎市
		宮崎県の工業	宮崎市

経済動向

国内の動き

● 公営企業 CATV 参入

自治省は、地方自治体と地方公営企業が共同で取り組むCATV(有線テレビ)整備事業を95年度から始め、そのために新しい財政支援措置を設けることを決めた。CATVの普及が遅れている中小都市や農山村地域を対象にし、来年度は総額50億円の事業費を見込んでいる。公営企業がC

ATV事業に乗り出すのは初めて。自治省は、公営企業がマルチメディア分野に本格進出するための研究会を今春にも発足させ、光ファイバー網を利用した在宅医療や遠隔教育などの事業化も検討する考えで、地方の情報基盤整備に力を入れる。(1月6日付 日経)

● 新規企業就職者 12.9%減

労働省がまとめた94年上期(1~6月)の雇用動向調査によると、大学を卒業したり転職した人の数は315万人で、前年同期より12.9%減った。労働者全体に占める就職者の割合を示す就職率(建設業を除く)は、8.1%と前年同期より1.5ポイント低下し、64年の調査開始以来最低となった。労働省は、「景気低迷で企業が新規学卒者の採用や中途採

用を抑制した」とみている。調査は従業員5人以上の企業14,000社を対象に実施、12,000社の回答をまとめた。

就職者の内訳をみると、転職者が152万人と前年より15.4%減ったのが目立つ。新規学卒者は93万人と9.9%減った。(1月24日付 日経)

● 原油輸入量 15年ぶり高水準

日本の原油輸入量が、94年に第2次石油ショックのおきた79年以来15年ぶりの高水準になるのが確実になった。夏場の渴水で火力発電が増えたうえ、景気が回復してきたこともあって石油製品の需要が増大しているためだ。これにつれて「中東依存度」も今年に入って80%弱と、78年以来の水準に高まっている。

94年1~11月の原油輸入量は2億4300万㎘で、前年同期の2億3300万㎘と比べると4%増えた。例年12月は、2千万㎘以上の輸入があり、94年間で2億6千万㎘台乗せとなる見込み。原油輸入量は87年には1億8500万㎘まで減少したが、その後年々増加をとどめている。

(1月10日付 日経)

県内の動き

● 阪神大震災の影響ジワリ

阪神大震災の影響が、鹿島コンビナートなどを抱える茨城県内の主要工場にも徐々に出来てきた。日立製作所水戸工場(ひたちなか市)では部品納入の遅れで生産の遅れが始め、経済活動の広域化で、被災地から遠く離れていても危機管理が必要なことを改めて浮き彫りにした。一方で、住友金属工業の主力生産拠点である鹿島製鉄所では、同業

他社への支援供給というプラスの影響も出ている。

住金では、鉄道用車輪などの生産拠点である関西製造所や関連会社、住金シチックスなどの被害が明らかになっているが、鹿島製鉄所では当面、同業者の支援に動いている。

(1月24日付 日経)

● 道路兼広場の「緑の軸」

茨城県は、国際港湾公園都市として整備中の常陸那珂地区の“顔”となるセンター地区に、道路と広場の機能を併せ持つ「緑の軸(ブルーバール)」を他の施設に先駆けて建設する。95年度に着工する計画だ。同地区にはオフィスビル、商業施設、ホテルなどが計画されているが、バブル崩

壊の影響で民間の進出意欲が後退している。このため、緑の軸を先行整備することで魅力創出を狙う。県は民間誘致に弾みがつくことを期待している。

緑の軸は、整備面積28.4ヘクタールのセンター地区を横断する形で建設する。(1月10日付 日経)